



MapBasic 11.0.3 リリース ノート

このマニュアルでは、MapBasic のバージョン 11.0 以降で導入された新機能および強化された機能について説明します。また、解決された問題点と、使用時に注意が必要な未対処の問題点についても記載します。

目次

- ◆ MapBasic のアップグレード..... 1
- ◆ システム管理者向けの高度なインストール 2
- ◆ Maintenance Release 11.0.3 2

MapBasic のアップグレード

米国：
電話：518.285.6000
FAX：518.285.6070
販売：800.327.8627
政府販売：800.619.2333
テクニカル サポート：518.285.7283
テクニカル サポート FAX：518.285.6080
pbinsight.com

カナダ：
電話：416.594.5200
FAX：416.594.5201
販売：800.268.3282
テクニカル サポート：518.285.7283
テクニカル サポート FAX：518.285.6080
pbinsight.ca

欧州 / 英国：
電話：44.1753.848.200
FAX：44.1753.621.140
テクニカル サポート：44.1753.848.229
pbinsight.co.uk

アジア太平洋 / オーストラリア：
電話：61.2.9437.6255
FAX：61.2.9439.1773
テクニカル サポート：1.800.648.899
pbinsight.com.au

©2012 Pitney Bowes Software, Inc.
All rights reserved. MapInfo, Group 1
Software, および MapBasic は、Pitney
Bowes Software Inc. の商標です。他のす
べてのマークおよび商標は、それぞれの
所有者の資産です。

2012 年 1 月 10 日

インターネットに接続して 11.0.3 MapBasic Maintenance Release をダウンロードする
必要があります。

この Maintenance Release は、以下の製品が既にインストールされている場合にイ
ンストールできます。

- MapBasic 11.0

MapBasic をバージョン 11.0.3 Maintenance Release にアップグレードするには

1. インターネットブラウザを開き、次の URL を表示します。
<http://www.pbinsight.com/support/product-downloads/item/mapbasic-v11.0.3-maintenance-release>
2. この Web ページで、ダウンロード リンクをクリックし、お使いの Web ブラ
ウザの指示に従ってパッチ ファイルを開き、実行します。
(ファイルは、MapBasic11.0.3MaintenanceRelease.exe という名前です。ここで
一旦保存し、後で実行する場合は、この名前のファイルを実行してくださ
い。)
3. 表示される手順に従って、アップグレードを完了します。

インストールが完了するまで待ちます。

MapBasic をバージョン 11.0.3 にアップグレードした後には作成する MapBasic プロ
グラム (.mbx ファイル) はすべて、MapInfo Professional バージョン 11.0.3 または
それ以降のバージョンがなければ実行できません。つまり、ここで作成される
.mbx ファイルを使用するユーザは、そのファイルを実行するために、MapInfo
Professional をバージョン 11.0.3 以降にアップグレードする必要があります。

システム管理者向けの高度なインストール

このセクションは、コマンドラインを使用してこの Maintenance Release をインストールするシステム管理者を対象としています。

サイレント モードでのアップグレード

MapBasic Maintenance Release インストーラをサイレント モードで実行するには、コマンドプロンプトで以下のコマンドを入力します。

```
MapBasic11.0.3MaintenanceRelease.exe /s /v"SILINST=True"
```

ここで

/s: ユーザに介入を求めずに **setup.exe** を実行します。

/v: パラメータ "SILINST=True" を **setup.exe** に渡して GUI を非表示にします。

インストール中に進捗ダイアログが表示されることがあります。

Windows 7、Server 2008、および Server 2008 R2 を使用している場合は、続行の許可を求めるプロンプトが表示される場合があります。[OK] をクリックして続行します。

Maintenance Release 11.0.3

このセクションには、MapBasic 11.0 後に行われた更新を示します。

- **Set Browse** 文における新しい並び替えオプション
- **MapBasic SystemInfo()** 関数の拡張
- [テーブル リスト]、[レイヤの管理]、[マップを移動] の各ウィンドウに対する **Close Window** 文および **Open Window** 文の拡張
- 「MBX を読み込めません」というエラー メッセージにおけるバージョン番号表記の誤りに 関する注意点

Set Browse 文における新しい並び替えオプション

Set Browse 文は、MapBasic プログラムでブラウザの並び替えが制御できるように拡張されました。ブラウザ ウィンドウで並び替えを行うには、オプションの ORDER BY 句を含む Set Browse 文を実行します (Order By 句は、「Order By Country, City」のように、SQL SELECT 構文に従います)。

ブラウザを、デフォルトの並び替えられていない状態に戻すには、構文 Set Browse Order None を使用します。

(「Columns Resize」句の後に) ORDER 構文を使用する Set Browse 文の構文は、次のとおりです。

```
Set Browse
[ Window window_id ]
[ Grid { On | Off } ]
[ Row row_num ]
[ Column column_num ]
[ Columns Resize ]
[ Order By sortColumn [ Desc ] [, sortColumn2 ...] ]
[ Order None ]
```

sortColumn は、ブラウザの並び替えに使用する列を、SQL Select と同様の構文で指定します。

Desc はオプションで、降順での並び替えを指定します。並び替えに使用する列は、最大 4 個指定できます。例えば、次のように指定します。

```
Set Browse Order By Country, City, Income Desc
```

Order By [表示フィールドの指定] ダイアログを使用して列の名前をカスタマイズした場合は、Set Browse 文を新しいカスタム列名に合わせる必要があります。カスタム列名に空白が含まれる場合は ("Customer Name" など)、Set Browse 文において、Order By Col2 または Order By 2 のように、列番号を使用する必要があります。

エラー発生条件

Order By 句で、ブラウザ ウィンドウに存在しない列を指定した場合、または、Order By 句で予約済み列名である OBJECT または ROWID を使用して並び替えを行おうとした場合は、ランタイム エラーが発生します。

MapBasic SystemInfo() 関数の拡張

MapBasic に、アプリケーションを実行する MapInfo Professional の完全なバージョン番号を取得するための機能が追加されました。SystemInfo 関数で、新しい属性 SYS_INFO_MIFULLVERSION を使用することによって、この情報を取得できます。


SystemInfo() 関数は、オペレーティング システムまたはソフトウェア バージョンに関する情報を返します。この関数は、MapInfo Professional の MapBasic ウィンドウから呼び出すことができます。この関数に、次の属性コードが追加されました。

属性コード	ID	SystemInfo() の戻り値
SYS_INFO_MIFULLVERSION	19	現在実行している MapInfo Professional のマイナーおよびメンテナンスバージョンを含む完全なバージョン番号を表す整数値。この値は、バージョンを表す文字列から小数点記号を除いた数値です。 バージョン 11.0.3 に対する、SystemInfo(SYS_INFO_MIFULLVERSION) の戻り値は 1103 となります。MapInfo Professional 11.0 の場合でも 11.0.3 の場合でも 1100 を返す SystemInfo(SYS_INFO_MIVERSION) よりも、詳しい情報を返します。


[テーブル リスト]、[レイヤの管理]、[マップを移動] の各ウィンドウに対する Close Window 文および Open Window 文の拡張

MapBasic に、[テーブル リスト]、[レイヤの管理]、[マップを移動] の各ウィンドウを閉じたり開いたりするためのサポートが追加されました。Close Window 文と Open Window 文が拡張され、次の新しいキーワードおよびウィンドウ ID が使用できるようになりました。

ウィンドウ	キーワード	ウィンドウ ID の定義/値
テーブル リスト	TableList	WIN_TABLE_LIST/2001
レイヤの管理	LayerControl	WIN_LAYER_CONTROL/2002
マップを移動	MoveMapTo	WIN_MOVE_MAP_TO/2003

 Run Menu Command ID を使用して MapBasic からこれらのウィンドウを開くことができます。

統合マッピング アプリケーションでは、[テーブル リスト] または [レイヤの管理] のウィンドウを開くと、それぞれのダイアログのバージョンが表示されます。[マップを移動] ウィンドウにはダイアログ バージョンがないため、統合マッピング アプリケーションでこのウィンドウを開いても何も生じません。

 [テーブル リスト]、[レイヤの管理]、および [マップを移動] の各ウィンドウのウィンドウ ID は、Set Window 文、WindowInfo() 関数、および WindowID() 関数では無視されます。

Close Window 文

Close Window 文は、ウィンドウを閉じるか非表示にします。この文は、MapInfo Professional の MapBasic ウィンドウから発行できます。この文に、次の window_spec 値が追加されました。

window_spec 値	ウィンドウの説明
TableList	[テーブル リスト] ウィンドウ。定義コードは WIN_TABLE_LIST です。統合マッピング アプリケーションでは、これはモーダル バージョンを表します。
LayerControl	[レイヤ管理] ウィンドウ。定義コードは WIN_LAYER_CONTROL です。統合マッピング アプリケーションでは、これはモーダル バージョンを表します。
MoveMapTo	[マップを移動] ウィンドウ。定義コードは WIN_MOVE_MAP_TO です。

Open Window 文

Open Window 文は、ウィンドウを開くか表示します。この文は、MapInfo Professional の MapBasic ウィンドウから発行できます。この文に、次の window_name 値が追加されました。

window_name 値	ウィンドウの説明
TableList	[テーブル リスト] ウィンドウ (WIN_TABLE_LIST)。
LayerControl	[レイヤ管理] ウィンドウ (WIN_LAYER_CONTROL)。
MoveMapTo	[マップを移動] ウィンドウ (WIN_MOVE_MAP_TO)。

「MBX を読み込めません」というエラー メッセージにおけるバージョン番号表記の誤りに関する注意点

実行しているものよりも新しいバージョンの MapBasic でコンパイルしたアプリケーションを実行したり、実行しているバージョンでサポートされていない機能を含むワークスペースやテーブルを開いたりすると、エラー メッセージが表示されます。エラー メッセージでは、アプリケーション、ワークスペース、またはテーブルのロードまたは読み込みができなかったことを通知するとともに、それを読み込むことのできる MapInfo Professional のバージョンを示します。

このメッセージには、11.0.3 のようなマイナー バージョン番号が示されません。例えば、MapInfo Professional 11.0 において、バージョン 11.0.3 でコンパイルした MBX を読み込もうとした場合、「foo.mbx を読み込めません。Version 11.0.3 で開いてください。」というエラー メッセージが表示されるべきですが、実際のメッセージでは、11.0.3 の代わりに 11.3 と誤って表示されます。

このバージョン表記の誤りは、バージョン 11.0.1 で修正されましたが、それ以前のバージョンでは誤って表示されるので注意してください。